

【研究組織】

研究代表者： 直井 優 (大阪大学大学院 人間科学研究科 教授)
研究分担者： 川端 亮 (大阪大学大学院 人間科学研究科 教授)
吉川 徹 (大阪大学大学院 人間科学研究科 助教授)
太郎丸 博 (大阪大学大学院 人間科学研究科 助教授)
菅野 剛 (日本大学 文理学部 専任講師)

【研究経費】

平成 13 年度 4,500 千円
平成 14 年度 13,500 千円
平成 15 年度 4,200 千円
平成 16 年度 13,500 千円
計 35,700 千円

【研究発表】**1 著書**

直井優・太郎丸博編著, 2004, 『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科
先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野.

2 雑誌論文**2005 年**

松川太一・樋口耕一・川端亮, 2005 (印刷中), 「社会調査データ・アーカイブ SRDQ の公開」『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』第 31 巻.

米田幸弘, 2005 (印刷中), 「生活様式の価値志向形成——脱物質的価値の視点から」『年報人間科学』26.

2004 年

樋口耕一, 2004, 「テキスト型データの計量的分析——2つのアプローチの峻別と統合」『理論と方法』19(1): 193-214.

太郎丸博, 2004, 「社会階層とインターネット利用——デジタル・デバイド論批判」『ソシオロジ』48(3): 53-66.

米田幸弘・直井優, 2004, 「情報メディアとしてのインターネット——HP 利用層の分析」『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』30: 63-76.

2003 年

岩淵亜希子・直井優, 2003, 「社会観としての『高齢社会イメージ』とその特徴」『大阪大学大学院 人間科学研究科紀要』29: 69-98.

岩淵亜希子・直井優, 2003, 「『高齢社会イメージ』の意識構造とその世代差——2001 年度『情報化社会に関する全国調査 (JIS)』データを用いて」『年報人間科学』24 (第二分冊): 155-74.

川端亮・樋口耕一, 2003, 「インターネットに対する人々の意識——自由回答の分析から」『大阪大学大学院 人間科学研究科紀要』29: 161-81.

松谷満・川端亮, 2003, 「『IT 化』と脱物質主義的価値観」『大阪大学大学院 人間科学研究科紀要』29: 183-202.

直井優・菅野剛・岩淵亜希子, 2003, 「情報化社会に関する全国調査 (JIS2001) の概要」『大阪大学大学院 人間科学研究科紀要』29: 23-66.

NAOI Atsushi, SUGANO Tsuyoshi, & IWABUCHI Akiko, 2003, The Japan Survey on Information Society 2001, *Annals of Human Sciences*. 24(II): 125-52.

3 学会報告 (国際学会)**2004 年**

HIGUCHI Koichi & KAWABATA Akira, SRDQ (Social Research Database on Questionnaires) Data Archive. 36th World Congress International Institute of Sociology, Beijing, July 2004.

MATSUTANI Mitsuru, Determinants of “IT” Use: Do Post-materialistic Values Effect on “IT” Use? 36th World Congress International Institute of Sociology, Beijing, July 2004.

NAGAMATSU Namie, Occupational Self-direction and IT Use. 36th World Congress International Institute of Sociology, Beijing, July 2004.

SUGANO Tsuyoshi & IWABUCHI Akiko, Description of the Japan Survey on Information Society (JIS) 2001 and 2002. 36th World Congress International Institute of Sociology, Beijing, July 2004.

TAROHMARU Hiroshi, Social Stratification and Internet Use: Critique of Digital Divide Studies. 36th World Congress International Institute of Sociology, Beijing, July 2004.

2003 年

HIGUCHI Koichi & KAWABATA Akira, What and How Japanese People Think about the Internet: Analyzing Open-Ended Questions. International Statistical Institute 54th Session, Berlin, August 2003.

IWABUCHI Akiko, The Relationship between Images of Aged Society and Newspapers. International Statistical Institute 54th Session, Berlin, August 2003.

IWABUCHI Akiko & NAOI Atsushi, Aged Society Images as a Perspective on Japanese Society and the Generational Differences of these Images. The 7th Asia/ Oceania Regional Congress of Gerontology, Tokyo, November 2003.

MATSUTANI Mitsuru, Development of Information Technology and Post-Materialistic Values. International Statistical Institute 54th Session, Berlin, August 2003.

NAOI Atsushi & SUGANO Tsuyoshi, JIS2001: The Japan Survey on Information Society. International Statistical Institute 54th Session, Berlin, August 2003.

4 学会報告 (国内)

2004 年

松川太一・樋口耕一, 「インターネットを通じた社会調査データの公開と分析——社会調査データベース『SRDQ』について」第 77 回日本社会学会大会 (於・熊本大学), 2004 年 11 月.

長松奈美江, 2004, 「「職業上の自己指令性」による階層カテゴリーの再考」第 38 回数理社会学会 (於 山形大学), 2004 年 9 月.

2003 年

樋口耕一, 「消費者による情報技術の再発見——自由回答の分析から」第 76 回日本社会学会大会 (於 中央大学) 2003 年 10 月 12~13 日.

岩渕亜希子, 「『高齢社会イメージ』に対する一般的信頼感の効果」第 76 回日本社会学会大会 (於 中央大学) 2003 年 10 月 12~13 日.

松川太一・川端亮, 「『情報化社会に関する全国調査 (JIS)』データの公開——インターネットを通じた社会調査データの公開と分析」第 76 回日本社会学会大会 (於 中央大学) 2003 年 10 月 12~13 日.

松谷満, 「情報化社会における脱物質主義的価値観」第 76 回日本社会学会大会 (於 中央大学) 2003 年 10 月 12~13 日.

菅野剛・直井優, 「情報化社会に関する全国調査 (JIS) について」第 76 回日本社会学会大会 (於 中央大学) 2003 年 10 月 12~13 日.

米田幸弘, 「インターネット利用と情報関心」第 76 回日本社会学会大会 (於 中央大学) 2003 年 10 月 12~13 日.

5 報告書論文

2004 年

江口篤, 2004, 「ホームページ閲覧傾向の探索的分析」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 40-9.

藤岡勲, 2004, 「情報階層帰属意識の規定要因」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 72-81.

藤田嘉代子, 2004, 「ホームページ利用者の閲覧タイプ」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 30-9.

池本淳一, 2004, 「情報機器利用の規定要因」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 50-9.

岩渕亜希子, 2004, 「信頼の機能と社会階層」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 141-57.

川端亮・樋口耕一, 2004, 「インターネットに対する人々の意識——自由回答の分析から」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 82-96 (再録).

- 松谷満, 2004, 「『IT』利用の規定因——脱物質主義的価値観は『IT』利用を促進するか」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 60-71.
- 長松奈美江, 2004, 「全般的不公平感の発生の条件——男女間の規定構造の差異に注目して」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 158-70.
- 直井優・菅野剛, 2004, 「情報化社会に関する全国調査概要 (JIS2001, JIS2002)」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 1-10.
- NAOI Atsushi & SUGANO Tsuyoshi, 2004, Survey Description on the Japan Survey on Information Society: JIS2001 and JIS2002. NAOI Atsushi & TAROHMARU Hiroshi (ed.), The Interim Report of The Japan Survey on Information Society. Advanced Studies on Information Society and Conditions, Advanced Empirical Sociology and Social Data Science, Graduate School of Human Sciences, Osaka University, p11-7.
- 西村久美子, 2004, 「『高齢社会イメージ』を規定する要因を探る」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 171-84.
- 大瀧友織, 2004, 「IT時代の家族意識——コミュニケーション頻度と家族への信頼感」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 116-25.
- 大瀧友織, 2004, 「回答内容の信憑性とその規定要因」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 185-95.
- 鈴木富美子, 2004, 「IT ネットワークは不安感を軽減する資源となりうるか？」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 97-115.
- 太郎丸博, 2004, 「社会階層とインターネット利用——デジタル・デバイド論批判」直井優・太郎丸博編著『情報化社会に関する全国調査 中間報告書』大阪大学大学院 人間科学研究科 先端情報環境学・先進経験社会学・社会データ科学研究分野, 18-29 (再録).